

明日を担う子どもたち 変わる学校教育



一宮北小中学校一貫教育推進
プロジェクト会議

1 これからの時代を生き抜く子どもたちを育てる

- (1) 急激に変化する社会を生き抜く上で必要な力をもつ
- (2) 「生きる力」～確かな学力・豊かな心・健やかな体～をもつ
- (3) 生涯にわたって学ぼうとする意欲をもつ
- (4) 災害を愛し、災害に生きる（災害を活かす）
- (5) さまざまな人々と協働することができる



2 穴栗市の学校教育における課題とは？

(1) 子どもの減少



対人関係の固定化

いろいろな考え方に触れる機会の減少

(2) 学力の伸び悩み

(3) 不登校問題

(4) 先生が多忙化



3 これらの課題を解決するために

本市では



小中一貫教育

を推進します

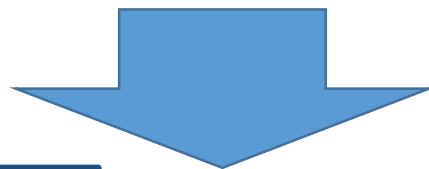
小中一貫教育って、どのような教育なのですか？

小学校と中学校がめざす子ども像を共有し、
9年間を通じたカリキュラムを編成して、系
統的な取組を行う教育です。

(具体例)

- ・ 学習規律や指導方法、生徒指導の方針など方法が一貫している。
- ・ 地域性を活かした総合学習や特別活動が小中学校で連携して行われる。(例：ふるさと学習)
- ・ 外国語の授業、人権教育、道徳教育等が、9年間を通じたカリキュラムのもと行われる。
- ・ 小学校と中学校の先生が入れ替わって授業を行う。

小中一貫教育を実施すると…



期待できる効果

学習指導上の効果

- (ア) 学力が向上する。
- (イ) 学習意欲が向上する。
- (ウ) 学習習慣が定着する。
- (エ) 授業の理解度が向上する。
- (オ) 学習に悩みを抱える児童生徒が減少する。



生徒指導上の効果 1

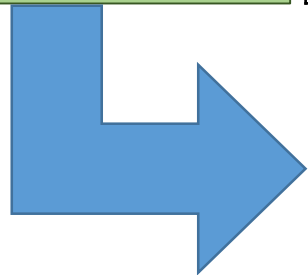
(ア) 「中1ギャップ」が緩和される。

(不登校、暴力行為等の減少、
中学校進学に不安を覚える生徒の減少)

小中一貫校のシステム

小1 小2 小3 小4 小5 小6 中1 中2 中3

従来の学校 (6. 3 制)	小 学 校			中学校	
小中一貫校 (6. 3 制)	小 学 校			中学校	
小中一貫校 (5. 4 制)	前期課程			後期課程	
小中一貫校 (4. 3. 2 制)	初等課程		中等課程		高等課程



どれでも選択できます

生徒指導上の効果 2

- (イ) 学習規律・生活規律が定着し、生活リズムが改善される。
- (ウ) 思いやりや助け合いの気持ちが育つ。
- (エ) コミュニケーション能力が向上する。

先生の服務上の効果

- (ア) 授業力・生徒指導力が向上する。
- (イ) 小・中学校間における授業観の差が縮小する。
- (ウ) 基礎学力の必要性に対する意識が高まる。
- (エ) 小・中学校で共通に実践する取組が増加し、協力して指導に当たる意識が高まる。
- (オ) 仕事に対する満足度が高まる。

その他の効果

(ア) 保護者や地域との協働関係が深まる。

(イ) 学校運営が効率化される。



小中一貫教育は、導入してすぐに成果が出るというようなものではありません。

先生の意識改革が行動の変革につながり、教育課程の指導の改善が行われた結果、さまざまな面でじわじわと効果が出てくると考えられます。

文部科学省の調査でも、実施経過年数が長い取組の方がより多くの成果を生み出していることが明らかになっています。

4 本市小中一貫教育の基本方針

(1) 推進項目

- ・ 地域総がかりで「新しい学校」＝「小中一貫校」を創造します
- ・ 「中1ギャップ」解消により学校生活におけるつまずきを予防し、豊かで実り多い義務教育を実施します
- ・ 地域に対して愛着と誇りをもった子どもを育みます
- ・ 9年間を見通した教育の実施により、学力の向上を図ります
- ・ 先生の意識改革と資質向上を進めます



(2) 対象校

- ・ 市内全小中学校

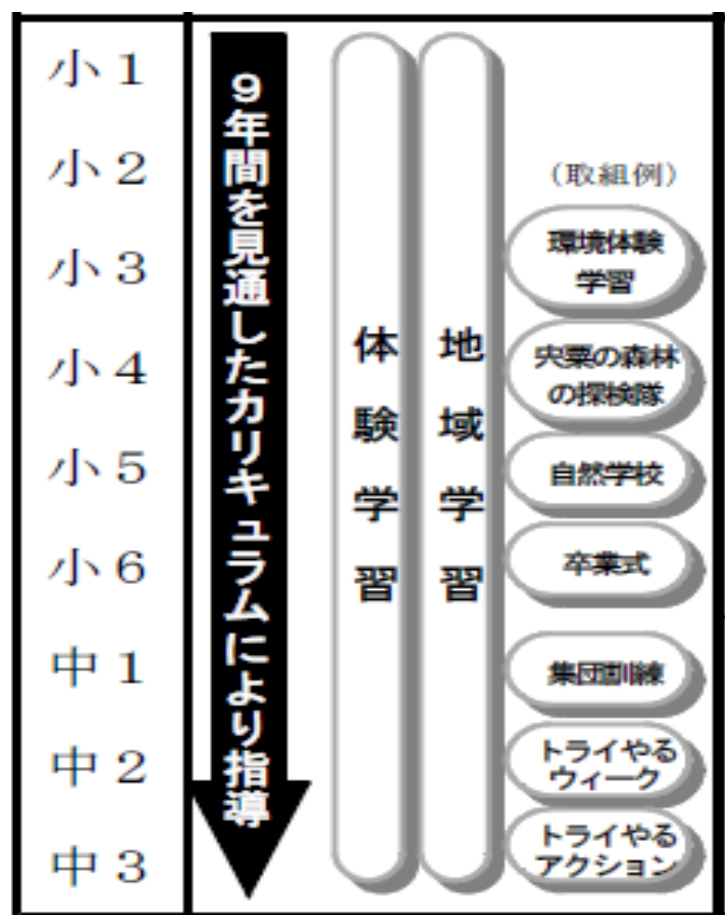
(3) 推進方法

- ・ 各中学校区を単位として実施
- ・ 令和3年（2021年）度から設立を開始 → 一宮北中学校区
- ・ 令和9年（2027年）度を目処に市内全小中学校区で実施



5 小中一貫校では何が変わるのか？

(1) ふるさと学習（仮称）が始まります



いままで、学年毎に実施していた体験学習・地域学習を9年間を見通して系統的に実施します。



5 小中一貫校では何が変わるのか？

(2) 9年間を見通した外国語学習が始まります

	外国語 (外国語活動)	
	指導方法	指導教員
小1 小2 小3 小4 小5 小6	学級担任制 あるいは 教科担任制	学級担任・ 英語教員・ A L T 中学校
中1 中2 中3	教科担任制	A L T 英語教員

中学校の英語の先生・A L T
学級担任が連携して小学校の
外国語教育を充実させます。



5 小中一貫校では何が変わるのか？

(3) 9年間を見通した人権教育が始まります

小学校 1 年生の段階から中学校 3 年生まで
を見通して人権感覚・人権意識を育む人権
教育を実施します。



5 小中一貫校では何が変わるのか？

(4) 小中学校の先生が相互に乗り入れて授業を行います

	各 教 科 等	
	指導方法	指導教員
小 1 小 2 小 3 小 4 小 5 小 6	学級担任制 あるいは 教科担任制	小学校教員 ↑ 中学校教員
中 1 中 2 中 3	教科担任制	

小学校の先生が中学校で中学校の先生が小学校で授業を行います。（一部）



先生の授業力が向上

専門性を活かした授業の実施

6 その他の取組例

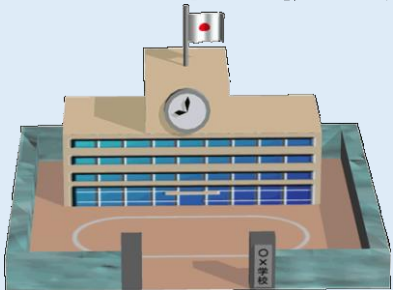
- 9年間で系統立てた「学習や生活のきまり」の設定
- 9年間を見通した学習方法やマニュアルの作成
- 9年間を見通したノート指導や発表の方法の指導



- 9年間を見通した宿題・学習時間の量の段階的な増加の配慮
- 小学6年生の3月から中学1年生の4月までの一部期間を対象に小学校の学習内容を復習したり、中学校の学習内容を先取りして学習したりすることのできる特別の教科指導を実施すること



A 小中学校が近くにある

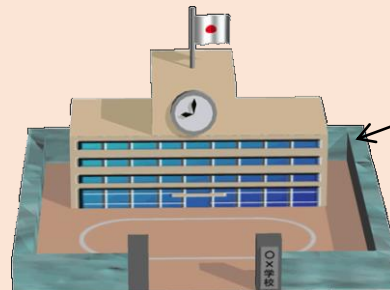


中学校



小学校

B 小中学校が離れている



中学校



A 小学校

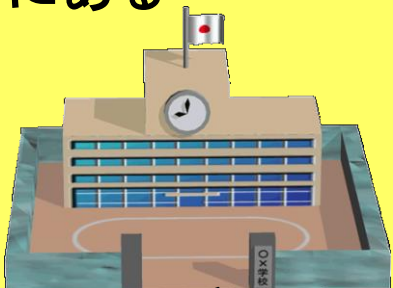


B 小学校

一宮南中学校区

山崎東中学校区・波賀中学校区
千種中学校区

C 一部の小学校が中学校の近くにある



中学校

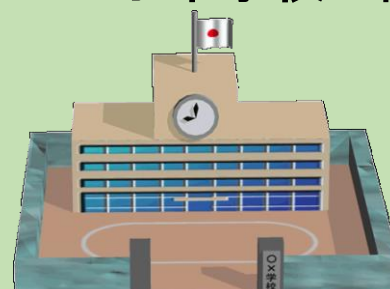


A 小学校

B 小学校



D 小中学校が隣接している



中学校



小学校

山崎西中学校区・山崎南中学校区

一宮北中学校区

どの形態でも
小・中一貫校
として推進可能





義務教育は大きな転換期を迎えています。

子どもたちがよりたくましく、こころ豊かに育つには、「新しい学校」と「新しい地域」の創造が必要です。

未来を担う子どもたちの学びの場「学校」と「地域」は切っても切れない関係です。

学校が元気になれば地域も元気になります。子どもたちのために地域総がかりで「新しい学校」をつくっていきましょう。

